

## J Aバンク大分における地域密着型金融の取組状況 (平成22年度)

J Aバンク大分(大分県下J Aと大分県信用農業協同組合連合会)では、農業と地域社会に貢献するため、平成22~24年度J Aバンク大分中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

平成22年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

### 1. 農山漁村等地域の活性化のための融資を始めとする支援

(J Aバンク大分の農業メインバンク機能強化への取組み)

J Aバンク大分は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

#### (1) 農業融資商品の適切な提供・開発

J Aバンク大分は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

平成23年3月末時点のJ Aバンク大分が取扱う農業関係資金残高(注1)は13,592百万円、日本政策金融公庫等の受託貸付金(注2)残高は5,702百万円となっています。

(注1) 農業関係の貸出金とは、農業および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。

(注2) J Aバンク大分が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取り扱いを行っています。受託貸付金残高には、J A転貸分を含みます。

【営農類型別農業資金残高】 単位 百万円

	平成23年3月末現在
穀作	1,146
野菜・園芸	917
果樹・樹園農業	659
工芸作物	113
養豚・肉牛・酪農	935
養鶏・鶏卵	20
その他農業	8,390
農業関連団体等	1,412
合計	13,592

(注)

1 農業関係の貸出金とは、農業者、農業法人及び農業関連団体等に対する農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。

2 「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。

3 「農業関連団体等」には、J Aや全農(経済連)とその子会社等が含まれています。

## 【資金種別別農業資金残高】

単位 百万円

種 類	平成 23 年 3 月末現在
プ ロ パ ー 資 金	6,518
農 業 制 度 資 金	7,074
うち 農 業 近 代 化 資 金	2,519
うち そ の 他 制 度 資 金	4,555
合 計	13,592

(注)

- 1 プロパー資金とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
- 2 農業制度資金には、地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、地方公共団体等が利子補給等を行うことでJAバンク大分が低利で融資するもの、日本政策金融公庫等が融資するものがあり、ここではの転貸資金とを対象としています。
- 3 その他制度資金には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

## 【農業資金の受託貸付金残高】

単位 百万円

種 類	平成 23 年 3 月末現在
日本政策金融公庫資金	5,702
そ の 他	0
合 計	5,702

(注)

JAバンク大分では、主にはJA窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取扱っています。

## (2) 担い手のニーズに応えるための体制整備

JAバンク大分では、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでいます。

JAでは、本支店の農業融資担当者が、営農・経済担当者がお聞きした情報も含めて把握して、農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施しています。

また、県下JAに42名の「担い手金融リーダー」を設置し、農業担い手の活動をサポートしています。

## (3) JA内事業間連携の強化

農業者の多様なニーズにJAをあげて応えていくため、営農・経済事業等との合同会議・研修会の開催や農業者への同行訪問等により、これまで以上に、JA内事業間連携を強化しています。

## 2. 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援

J Aバンク大分は、担い手をサポートするため、ライフサイクルに応じて、次の取組みを行っています。

### (1) 新規就農者の支援

J Aバンク大分では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、就農支援資金などを取り扱っています。

#### 【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】

単位 百万円

	平成 22 年度 実行件数	平成 22 年度 実行金額	平成 23 年 3 月末 残高
就農支援資金（転貸）	22	20	171.6
就農施設等資金	0	0	110
その他	0	0	0
合計	22	20	281.6

### (2) 経営不振農家の経営改善支援

J Aバンク大分では、負債整理資金の対応にあたり、特別融資制度推進会議を通じて関係機関と協議するなど、農業者の経営再建に向けて取り組んでいます。

#### 【平成 22 年度の農業者の経営改善支援等の取組み実績】

	期初経営改善 支援取組先 A	Aのうち期中に再生計画を策定した先数	Aのうち期末に債務者区分がランクアップした先数	Aのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数	事業計画策定率 = a / A	ランクアップ率 = b / A	
		a	b	c			
正常先	91	0		91	0.0%		
要注意先	うち その他要注意先	39	3	12	25	7.7%	30.8%
	うち要管理先	0	0	0	0	0.0%	0.0%
破綻懸念先	15	2	0	15	13.3%	0.0%	
実質破綻先	22	2	5	17	9.1%	22.7%	
破綻先	0	0	0	0	0.0%	0.0%	
小計( ~ の計)	76	7	17	57	9.2%	22.4%	
合計	167	7	17	148	4.2%	10.2%	

注)

・ 期初経営改善支援取組先および債務者区分は平成 22 年 3 月末でのものです。

### 3. 経営の将来性を見極める融資手法を始め、担い手に適した資金供給手法の提供

J Aバンク大分では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

#### (1) 負債整理資金による軽減支援

J Aバンク大分では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

##### 【平成 22 年度負債整理資金の貸出実績】

単位 件, 百万円

資金名	実行件数	実行金額	平成 23 年 3 月末 残高
農業経営負担軽減支援資金	34	42	841
畜産特別資金	4	5	696
その他	0	0	0
合計	38	47	1,537

- ・農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っています。
- ・畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換え資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っています。

### 4. 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

J Aバンク大分では、地域社会に貢献するため、次の取組みを行っています。

#### (1) 災害被災者への支援

J Aバンク大分では、災害対策資金の創設や個別融資先の経営状況に応じて償還条件の緩和等に対応しました。

単位 件, 百万円

取組事例	J A名	内容	件数	貸付実行 金額
家畜飼料特別支援 資金の対応	J Aべっぷ日出	飼料価格の上昇に対応して、畜産経営に対する飼料購入に要する資金として対応しました。	1	22
家畜飼料特別支援 資金の対応	J Aおおいた	飼料高騰の影響を受け、経営が悪化している組合員に対し、(社)中央畜産会の利子補給を受けた低利の資金に対応しました。	2	26
家畜緊急対策資金 の対応	J A九重町飯田	宮崎県で発生した口蹄疫により市場が閉鎖された組合員に対し、運転資金のプロパ-貸付を無利子で行いました。	10	5.9
合計			13	53.9